

児童が主体となる体験的な活動を重視した授業づくり
～ふるさと山部のよさを生かして～

日立市立山部小学校

1 はじめに

日立市北部・十王地区にある山部小学校は全校児童24人の小規模校である。学級は完全複式学級で構成されており、1・2年生、3・4年生、5・6年生と特別支援学級の4学級である。国語と算数、中学年の理科、社会は、2つの学年のそれぞれの学習内容を行っているが、完全複式なので、それ以外の教科は、A年度とB年度の年度方式で学習を行っており、2つの学年一緒に同じ内容を学習している。例えば、本年度の生活科は1年生の内容を、総合的な学習の時間は5・6年生が5年生の内容をとというような学習内容になっている。このような実態から、偶数学年内容を履修する際は、前年の学習内容も確認しながら指導し、内容を飛び越えた奇数学年の児童が戸惑わず学習できるような配慮と個別の支援が必要となってくる。

児童数が少ないことで、運動会やフェスティバル、愛校作業などの行事は地域の方々も一緒に参加してくださっている。山部小の児童は地域の方々にも温かく育まれて生活している。さらに、自然環境に恵まれた本校では、小規模校のよさを生かした様々な体験学習に力を入れている。こうした、地域の力と体験活動を重視し、本校では児童一人一人が主体となる生活科および総合的な学習の時間を実践している。

2 総合的な学習の時間の年間指導計画

本校の総合的な学習の時間の活動計画は、3・4年生がA・Bの内容、5・6年生がC・Dの内容で、2学年が一緒に学習を行っている。

		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
3 ・ 4 年	A	山部のよさをみつけよう ㊹												
		○オリエンテーション ○みかんの木マップを作ろう ○山部のみかん ○みかんの世話をしよう							○山部のえらい人を調べよう (大竹将喜さん・樫村白圭さん) ○みかんの収穫 ○みかん博士になろう ○まとめ ○発表会○広げる					
	B	ともに生きよう㊹												
		○オリエンテーション ○障害のある人のくらしを調べよう ○目の不自由な人 ○耳の不自由な人 ○体が不自由な人							○お年寄りの生活 ○人にやさしい町について ○まとめ ○発表会					

C	自然の恵みに感謝して～野菜・米作りをしよう～ ㊦	
	○オリエンテーション ○山部・十王のよさ調べ ○野菜・米作りの計画立て ○畑作・稲作体験	○畑作・稲作収穫 ○地域の方のお話会 ○まとめ ○発表会 ○広げる
D	伝えよう！日本の伝統文化 ㊦	
	○オリエンテーション ○日本の歴史や自然 ○伝統文化活動体験 ・墨絵体験 ・茶道体験 ・琴体験 ○広げる○まとめ○発表会	

☆令和元年度は、3・4学年…B 5・6学年…C

3 「山部のみかん」の活動について

山部地区は、北限のみかんの産地であることから、3・4年生で「山部のみかん」についての学習を行っている。「山部のみかん」を通して、地域を学び、地域のよさを知るよい題材となっている。

4 「山部のみかん」年間活動内容

月	時間(累計)	活 動 内 容
4	1	○オリエンテーション ・イメージマップ(マッピング)
5	4(5)	○山部小のみかんの木マップを作ろう ・校庭のみかんの木, レモンの木, きんかんの木を探検しよう。 ・学習計画を立てよう。 ・みかん作りの名人に聞こう。 ○みかん作りを調べよう。 ・「みかん日記1」をつけよう。(花の観察) ・記録のしかた 手入れのしかた
6	4(9)	○みかん作りを調べよう。 ・みかん園の見学 ・お礼の手紙
7	3(12)	○学校のみかんの世話をしよう ・夏の手入れをしよう ・「みかん日記2」(追肥) ・「みかん日記3」(摘果)
	1(13)	○1学期のまとめ (掲示物作成)



〈追肥する
児童〉

9	5(18)	○みかん博士になろう ・課題を見つけ、みかんについての調べ学習をする ・みかんの種類、苗木、みかんの育て方、世界の柑橘類
10	6(24)	○学校のみかんの世話をしよう ・秋の手入れをしよう ・「みかん日記4」「みかん日記5」 (大きくなる実の観察)
11	7(31)	○みかん博士になろう ・調べたことをプレゼンテーションにまとめよう ・パソコンの使い方 ○みかんの収穫をしよう  〈学校のみかんを収穫して喜ぶ児童〉 ・みかん日記6(みかんの収穫) ・みかんをみんなでいただく(給食事に全校児童に配付) ・みかんを地域の方に配ろう (やまびこフェスティバル)
12	7(38)	○みかん博士になろう ・調べたことをプレゼンテーションにまとめる ・みかん園の見学と観察、収穫体験 ・お礼の手紙   〈みかん園でみかん狩りをする児童〉 ・レモンの収穫1 レモンティーでティーパーティーを開こう
1	4(42)	○みかん博士になろう ・調べたことをプレゼンテーションにまとめよう ・プレゼンテーションにみかんクイズを入れよう ・オレンジの収穫(給食時に全校児童にカットして配付)

		○発表会をしよう ・発表会の進め方 ・レモンの収穫2
2	8(50)	○広げる ～レモンでチーズケーキを作ろう～   〈みんなでレモン搾り〉 〈焼き上がったレモンのチーズケーキ〉 ・発表会リハーサル ○「山部のみかん」発表会(授業参観)
3	5(55)	○広げる ～みかんの樹木プレートを作ろう～ ○1年間のまとめ (掲示物の完成)   〈樹木プレートを作る児童〉 〈みかん作りの掲示物が完成〉

4 成果と課題(成果○課題●)

○みかん農家の方の話を聞いたり, たくさん収穫できたみかん(およそ250個)を秋の学校の文化祭の際にお客様に配ったり, みかんを通して地域の方とふれあう活動ができた。

○自分たちの活動を「みかんクイズ」として, パソコンを使ってプレゼンテーション作りをし, 授業参観時に発表することができた。

○学校にある他の果樹にも児童は関心をもち, 児童の思いやアイデアを生かして, 収穫したオレンジをカットして給食時に配ったり, 収穫したレモンでチーズケーキを作ったり, 収穫した金柑のグラッセを作ったりと, 発展的な体験的活動を充実することができた。少人数の本校ならではの児童が主体となって活躍することができた。

●児童は学習活動や体験を通して, 学校のみかんや地域のみかん園に対する関心が高まり, ふるさとのよさを体感できた。さらに, ふるさとの特産物や伝統を大切にしていこうとする心情が育てる今後の課題である。